

守谷ボランティア NEWS

2022年3月号 (毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320
Email: moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp
ホームページURL: <https://moriya-cac.org/>
開館時間: 午前10時～午後6時 (午後9時まで延長可)
休館日: 月曜日、年末年始

もりや市民大学運営委員になりませんか？

もりや市民大学は、充実した運営体制を構築するため、新たなメンバーを募集します。また、新たに情報発信業務にご協力いただけるメンバーも併せて募集します。ぜひご応募ください。

- 応募資格 市内在住・在勤・在学で「協働のまちづくり」・「地域づくり」に関心があり、①「もりや市民大学」運営の会議に出席し運営業務に協力できる方、又は②情報発信業務に協力できる方
※保育ルームが必要な場合はご相談ください。
- 募集人数 5人程度
- 選考方法 書類および面接
- 報酬 なし
- 活動期限 令和4年4月1日～令和6年3月31日
- 申込方法 住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレスを明記し、窓口または郵送、ファクス、メールで申し込む (※様式は任意)
- 申込期限 令和4年3月30日 (水)
- 申込・問合せ
〒302-0198 守谷市大柏950-1
市民協働推進課 内線133 FAX: 0297-45-6526
E-mail: kyoudou@city.moriya.ibaraki.jp

パソコン講習会受講者募集

- 期間 4月～令和5年3月 (毎月2回開催)
 - 受講料 1,000円/月
 - 会場 市民活動支援センター会議室
 - 申込方法 3月24日 (木) までに、市民活動支援センター窓口で申し込む (電話申込不可)
 - 持ち物 ノートパソコン (貸出可)
- ※詳細は下記の団体にお問い合わせください。



パソコン・守谷 ● 問合せ先 大川 ☎48-7175	
【初級】▶日時	日曜日 13:00～15:00 ▶定員 15人
▶内容	パソコン基本操作、Word・Excel入門 インターネット、デジカメなど ※テキスト代(3冊)3,300円
【中級】▶日時	日曜日 15:15～17:15 ▶定員 15人
▶内容	初級を修了した程度の方が対象で、Word・Excelの基礎から実践まで ※テキスト代(2冊)1,980円

ITサポート守谷 ● 問合せ先 市村 ☎45-3877	
【初級】▶日時	日曜日 10:20～12:20 水曜日 13:30～15:30
【中級】▶日時	水曜日 10:20～12:20

登録団体活動情報 3月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
手話サークルふれあい 手話の学習・交流	中央図書館・中央公民館	毎週金曜日 (第5金曜日は休み) 10:00～12:00	間宮 45-3066
もりや花のまちづくり 守谷駅西口花壇の整備	守谷駅西口花壇	最終(月) 9:00～11:00	山口 090-2742-2619
大柏里山の会 谷津田の草刈り、ゴミの回収作業	大柏下ケ戸 (元はるにわカフェ前)	第2(日) 9:00～11:00	高木 090-1268-0269
立沢里山の会 里山整備	立沢里山	第4(土) 9:00～12:00	市民活動支援センター
守谷おりがみクラブ おりがみ教室	守谷市民活動支援センター	第2(土) 13:30～15:30	川名 090-7242-4888

助成金情報

* 内容は変更になる場合があります。各 HP をご確認ください。

まちづくり もりや 公益活動	～3/31 もりや公益活動助成金 もりや公益活動促進協会 https://moriya-cac.org/sokushin
福祉・ まちづくり	～3/30 第34回NHK厚生文化事業団 地域福祉を支援する「わかば基金」 社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団 https://www.npwo.or.jp/wakaba
まちづくり	～3/31 令和4年度「街なか再生助成金」 公益財団法人区画整理促進機構 https://www.sokusin.or.jp/town/subsidy.html

センターが
窓口です!

編集後記

コロナ禍をきっかけとして、デジタル環境は急激な変化を続け、さまざまな手続きのデジタル化やリモートでのコミュニケーションが一気に進んだと言えます。一方でネットに不慣れな高齢者が取り残される情報格差 (デジタルデバインド) 問題が起きています。災害や緊急時においては、デジタル機器からの情報取得が難しくなると、災害時において避難が遅れてしまう可能性があります。

当センターでは、情報格差を埋めるために「楽しそう」「何かいいことありそう」といった演出をし、体験できるような講座設計に取り組んでいます。





こんにちは！守谷のボランティアさん

「守谷ひなまつり実行委員会」の活動取材しました！@市民活動支援センター

毎年恒例の「つるし飾り講座」が開催されました！募集をかけると、すぐに定員に達する人気の講座です。受講生の中にはご主人にこの講座があることを教えてもらい、参加した方もいました。「新しいことにチャレンジできてうれしい」と話していました。

受講生の最終目標は2月初旬から始まる「守谷ひなまつり」に作品を飾ることです。

1年間で一人7種類の作品を制作。講座中に作り終わらないものは家に持ち帰り、次の回までの宿題になります。つるし飾りの輪っかの部分も手作りです。



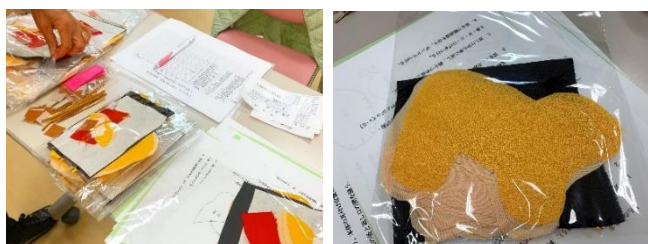
講師は、堀込さんをはじめ手取り足取り優しく教えてくれる7人のボランティアさん。お裁縫しながらお喋りしたり、とてもなごやかな様子です。



昨年同様に今年度もコロナ禍で何回も講座は中止になり、思うように進みませんでした。

講師陣はセンター閉館中にもかかわらず、型をとった布と型紙をセットにして、作り方を書いた用紙を受講生にセンターの駐車場で配っていました。

生地集めは大変です。寄付されたものや、古着屋を巡って着物を購入したものを、ばらして使っているそうです。中には正絹や接着芯などの高価なものもあります。



22日には「つるし飾り初心者講座」もありました

作品はうぐいす。こちらも分かりやすくキットにされています。

初めて講座に参加した受講生は、「細かい作業だけど、いつもの縫物とは違って新鮮です」と話していました。当センター長もプライベートで、初心者講座に参加しました。お裁縫となるといつもの仕事とは勝手が違うようです(笑)。オンライン講座では教える側だったセンター長が、逆に懇切丁寧に教えてもらうことになり、皆さんから「今度はパソコンを教えてね！」「頑張れ、センター長！」と応援されながら、熱心に講座を受けていました。



今年の「守谷ひなまつり」は10周年の記念の年となり、スタンプラリーの景品も豪華になりました。景品交換にきた皆さんは「コロナ禍で外に出る機会が減ってしまい、運動不足だったが解消できた」「わー！すごい！いっぱいあって選ぶのが大変♪」と話していて、センターは賑やかです。

また、センターのおひなさまは「守谷おりがみクラブ」とのコラボ展示となりました。おりがみで作ったお雛様やつるし雛も見どころです。



〈設置の様子〉

〈ひなまつり実行委員会×おりがみクラブ〉

来年度の展示に向けて「つるし飾り講座」は6月頃にスタートします。センター職員もまた協力いたします(^^)



〈取材：市民活動支援センター〉